

## 令和4年度 学校関係者評価報告書（まとめ用）

学校番号	12	学校名	静岡県立三島北高等学校	記載者	勝間田 浩文
------	----	-----	-------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	<p><b>基本的生活習慣の確立と心身の健康の保持・増進、豊かな人間性の醸成</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの発行 月1回</li> <li>・健康観察アプリの活用率 90%以上</li> <li>・信頼できる先生がいる生徒 90%以上※</li> <li>・部活動や学校行事に熱心に取り組んでいる生徒 95%以上※</li> <li>・図書年間貸出数（4～12月集計）2000冊以上</li> <li>・生徒の満足度 90%以上※</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において健康観察アプリの活用率が90%以上で、高い達成状況と思う。また、時間を守る習慣は日本社会では必須条件と思われていますが、海外では時間に関して寛容な国もある。時間を守り、挨拶をしっかり心がける取り組みの成果90%は優秀だと思う。教員を信頼できている生徒が80%以上も高い達成率であり、部活動や学校行事も熱心で（95%以上）、確実な教育体制である。</li> <li>・生徒側から先生やカウンセラーに、悩み事の相談をし易い仕組み作りを出せると良い。</li> <li>・学習用端末（タブレット）が導入されたことにより、読書指導が更に難しくなると思う。</li> </ul>
イ	<p><b>確かな学力と幅広い教養の育成に資する学習指導</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解を深める工夫をしている授業 90%以上※</li> <li>・主体的な活動や生徒同士の対話がある授業 90%以上※</li> <li>・家庭学習時間平日平均120分以上※ 休日平均200分以上※</li> <li>・校内研修の実施 年3回以上（「学びの基礎診断」の結果分析を含む）</li> <li>・教育課程検討委員会の開催 年3回以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成状況では、生徒が主体的に生徒同士の対話がある授業ができてきている（90%以上）。各科目担当教員の熱意と研修実施等の苦勞が伝わってきた。情報室のWi-Fiネットワーク環境は経済的な問題と思われたので特別予算の獲得があれば良い。</li> <li>・難しい課題で、生徒理解を深める工夫を継続して戴きたい。家庭での学習時間も、平均時間が少なくても一概に悪い訳ではない。普段は少ないがテスト前の1～2週間に集中するなどのメリハリがあっても良い。</li> <li>・すぐに結果に繋がらないが、創意工夫は絶えず行ってほしい。</li> <li>・この項目評価は、教員が生徒に必要な資質・能力を育むために工夫して授業を行っている評価とともに、生徒がどのように変化し</li> </ul>

様式第5号

					成長した検証が大切であり、その点がしっかりと行えていることが良いと思いました。
ウ	高い志と自立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来に対する明確な夢や目標を持っている生徒 70%以上※</li> <li>・学校は適切に進路情報を提供していると思う生徒 90%以上※</li> <li>・進路実現に向けて努力している生徒 75%以上※</li> <li>・第1志望の大学に出席する生徒の割合 70%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すでに将来に対する明確な夢が目標を持っている生徒 70%以上」の目標設定が高いと感じた。令和4年度 学校生活に関するアンケート(学校自己評価アンケート) 生徒回答では、明確な夢や目標を持っている生徒 60%程度で、残り 40%の生徒が教員や家族と相談しながら模索している状態(進路だよりの活用など)を継続していけば生徒の助けになると思う。また、高い目標値は必要なく、方向性を見つけるぐらいで精一杯の生徒も多いと思う。</li> <li>・高い志を育む為の指導は大切で継続をお願いしたいが、将来の夢や職業、進路などは、高校生の中に定まらなくても良いと思う。(モラトリアム)どんな職業でも、仕事でも「住めば都」と楽しむ考えを持ってもらうことも大事と思う。</li> <li>・将来に対する夢や目標は、明確でなくても良い。第一志望も捉え方による。</li> <li>・個に応じた進路指導が一層求められているのだと思う。</li> </ul>
エ	課題発見・解決力、論理的・批判的思考力、国際感覚等を備えた人材を育成するための探究的な学び・協働的な学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が論理的思考力等を高めることにつながっていると答える生徒 90%以上※</li> <li>・英語力や国際性が高まったと考える保護者の割合 60%以上※</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を工夫して実施し、各科目で高い成果が達成できている。</li> <li>・論理的思考能力や国際感覚を育成するカリキュラムの更なる充実により、三島北高校の特徴を強力なものにして欲しい。</li> <li>・論理的な考えは、その前提となる十分なインプットが必要なので、そのバランスが大切である。</li> <li>・探究的な学びは、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を実現するために、大切な学びである。ICT機器の有効活用も欠かせないと感じる。</li> </ul>
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学させて良かったと答える保護者 90%以上※</li> <li>・一日体験入学の参加中学生 1000人以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・90%以上の保護者の信頼を得ているのは立派で、100%目指す必要はない。HPの容量不足は、経済的問題なのかなと思う。1000人を超える中学生が体験入学に</li> </ul>

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信に熱心であると答える保護者 70%以上※</li> <li>・地域や社会の課題に対する意識が高まった生徒 60%以上※</li> <li>・令和5年度導入に向けた準備</li> </ul>			<p>来てくれたことは嬉しい成果である。大学のオープンキャンパスで体験したが、様々な「隠れた努力」があると推察される。地震に備え、今後の防災訓練がさらに重要項目になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箏曲部など地域の活動に良く参加し貢献度も高いと思う。地域活動に誘う側、地域活動を主催する団体（市、商工会議所、ロータリーなど）にもっと北高をPRすることも良い。</li> <li>・安全に配慮し地域とかかわって欲しい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行によって、様々な活動が制限され、家庭や地域との連携は難しかった。その中で、学校のできごとを的確に情報発信することは大切だと思う。</li> </ul>
カ	安全・安心な学校につながる学習環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめや体罰等に関する指導案件なし</li> <li>・安全対策がしっかりとできていると答える保護者 60%以上※</li> <li>・交通事故件数 前年比減</li> <li>・AED講習会等の実施</li> <li>・ニーズに即した予算の執行</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故件数が減少して良かった。保護者は成績ばかりに関心が偏りやすいので、もっと安全対策に関心をもって欲しい。</li> <li>・悪質な犯罪者への対策は、求めたらキリがない。交通安全、特に自転車の安全運転やマナー教育の充実をお願いしたい。</li> <li>・引き続き安全な学校を目指して欲しい。</li> <li>・いじめに関する事案がないことに驚いた。中学校のいじめ案件は毎年増加傾向にあります。ただ、いじめの認知が増えることは課題とは考えていない。いじめの解消率が大切との認識で指導に当たっている。</li> </ul>
キ	コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の不祥事なし</li> <li>・監査における指摘事項なし</li> <li>・時間外勤務時間の減少</li> <li>・夏季休暇取得率 100%</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の働き方改革の難しさをオープンにできると改善策も見えてくる。現実には超過勤務をしないと回らないほど業務が多いのだと思う。パート事務、シルバー人材の活用ができるのか。(千葉県) 激務をこなす教職員に敬意を表す。時間外の業務削減の為にメリハリのきいた思い切った対策も良い。OB(卒業生・同窓会)や地域の団体に協力を要請する。</li> <li>・目標はほぼ達成できている。</li> </ul>

様式第5号

					・働き方改革を進める上での最大の課題は部活動だと考える。
--	--	--	--	--	------------------------------